

Abandust judgement on economy strategiest  
built with acceptant of movement  
Money demand on law of judgement

Masaaki Yamaguchi, and investigate from AYA TAKASHIMA  
also future from my son being have with  
quantum level on differential geometries

高島彩さんの研究論文をアカシックレコードと瞑想法で見ての書き出しとしての論文

Retry for future to one result with adapt from adulsent for aquirance of training. For must friends of money are treat on law of judgement, economy need to treat for aquired of demands, this demands supply from rest of one's suppliment. This balance end without a closed accidennt of out come for restorance with supplied of demands exceed. These system are constructed with Actor, Demand, Supply of being retrayed from Jones manifold around economy of zone with accesority, verisity of curve in up, down, eternal rout of stages.

This system also monument with partial and economy of similst from law of judgement in universe and money, economy, human society, estrand of moment in last eternal stage.

Jones manifold equation built with Euler equation and Euler product, this concernd with concept from Higgs and partial fields, moreover this concernd of circle and Euler product from Global integrate and Volume manifold in Sheap manifold of integrate with group and topology different equation.

$$e^{-\theta} + e^{i\theta} = \sin(ix \log x) = e^{-f} + e^f \\ + \cos(ix \log x) = e^f - e^{-f}$$

自動車における道路での速度とそれに対する加速度を平地と上り坂、下り坂における曲がり角での曲率  $R_{ij}$  が、広中平祐先生の庭園理論と同じテーゼで、彩さんが経済理論の景気回復と景気刺激剤、景気恐慌がどのようにして、自動車運転と自動車の交通規則と同じ理論で作用するかを述べているのが、この論文で説明されている。

$$\frac{d}{dx} \left( \frac{d}{dr} R_{ij} = \sin \left| \frac{l_2}{2\pi} - \frac{l_1}{2\pi} \right| < 1 \right) = 0$$

Curve の度合い  $R_{ij}$ 、潮汐力の差、 $\frac{d}{df} F$  とは、直接的には違うが、間接的には同じであり、 $r$  と  $R$  の大域的変数として、半径  $r$  の多様体が曲率的には  $R_{ij}$  に大域的微分で作用をしている。遠隔的に作用している。

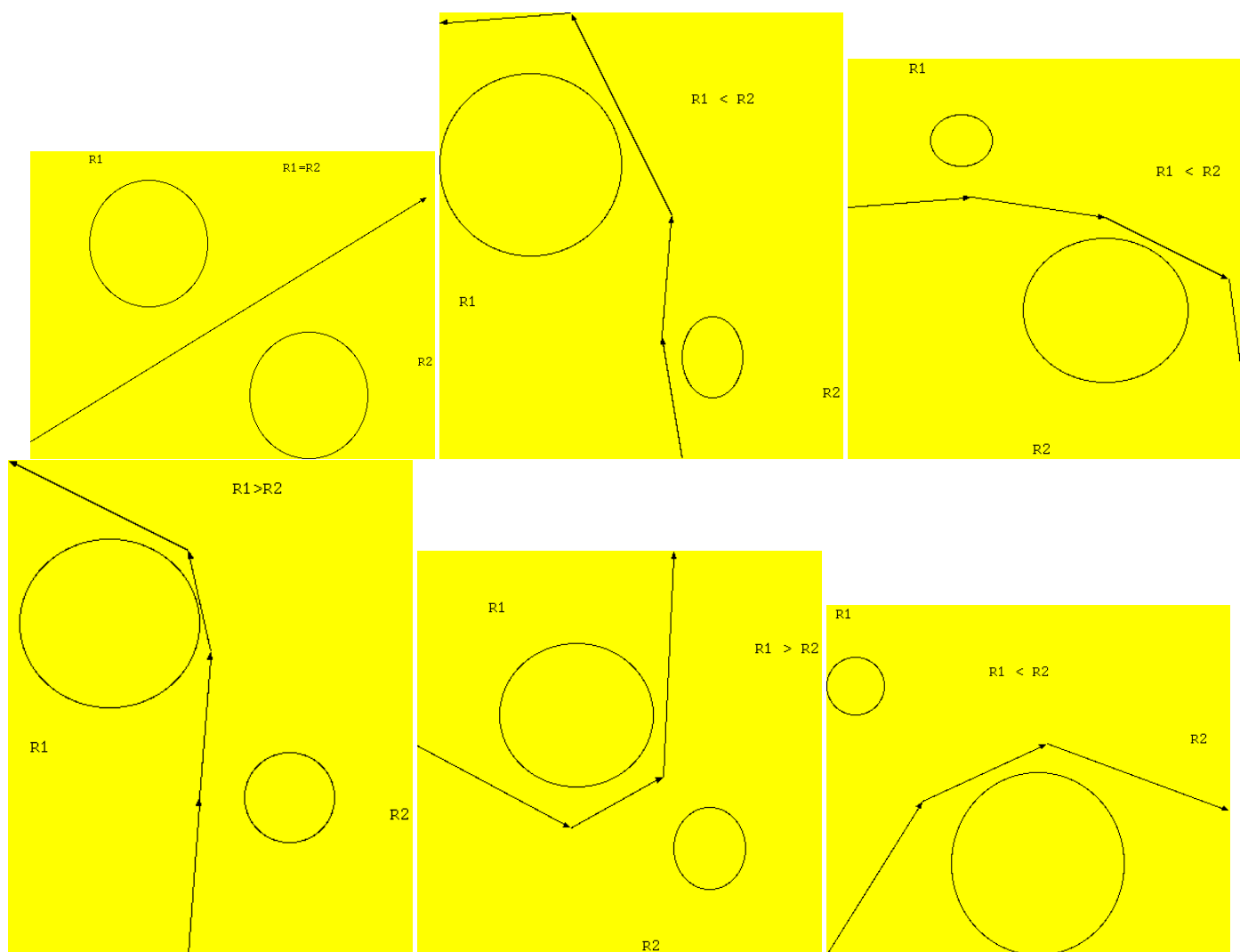
グリーシャ先生からリッチ・フロー方程式が、大域的微分になるのを教わった。広中平祐先生の 4 重帰納法で、ガンマ関数における大域的微分多様体が、オイラーの定数の多様体積分に使えるのがわかった。これがヒ

ルベルト空間としてのサーストン多様体が、代数多様体としての微分幾何として、ゼータ関数が素数分布として展開されるのがわかった。

$$R_{ij} = |R_2 - R_1| < 1, |R_2 - R_1| = 0$$

$$R_{ij} = \frac{R_2}{R_1} < 1, \frac{R_2}{R_1} = 1$$

$$\frac{d}{dt}g_{ij} = -2R_{ij}, \frac{d}{df}F(x) = \int \Gamma(\gamma)' dx_m = \int \Gamma dx_m + \frac{d}{d\gamma}\Gamma \leq e^f - e^{-f} \leq e^{-f} + e^f$$



$R_2 < R_1$ の場合は、左から  $R_1$  に接近して、 $R_1$  へ行くが、 $\frac{R_2}{R_1} < 1$  より、曲率  $R_{ij} < 1$  であるから、平坦の道路では、気をつけるべし、曲率  $R_{ij} = 1$  では、CURVE には気をつける。曲率  $R_{ij} > 1$  では、 $R_{i>j}$  であり、 $i$  の方で気をつける。これを経済の日経平均相場で、景気の上がりでは、curve がどう分類されるかで、気をつけるべき時期がわかり、景気の下がりでは、同じく curve でどう分類するかをきめる。平坦のときが一番気をつける、油断できない景気の税と立法での判断が、自動車の走行分岐での心理作用が、景気判断のどの道路状況でその場の気をつける心理と同じ作用をする。経済の需要が供給を下回っている状況では、

demand  $\leq$  supply では、需要のために、物価を下げるが、この状況では、 $R_1 < R_2$ , であるので、株は  $R_2$  の方へ曲率が上がり、このときに、需要の企業の生産が減ってきて、このときに、金融機関が気をつけないと、企業が破綻する可能性がある。このシチュエーションが世界恐慌であった。このように、曲率の場合分けをしていないと、間違った判断で、曲率に気をつけないから、交通事故が起こるということである。広中平祐先生の庭園理論と同じ考えのモチーフを高島彩さんは、研究論文で提出している。

高島彩さんの成蹊大学での研究論文を参照させてもらえて、書き出した経済の需要と供給に対しての物価上昇と経済沈滞においてのインフレとデフレにメスを入れる税と景気対策のタイミング、このタイミングが Jones 多項式の周期の終わりにバランスを崩すと、景気の極率としての CURVE の潮汐力での差分率の曲率が 1 以下になるときの、心理作用を考えるべきという、経済消費における物価調整の作用をかけるメカニズムについての論文

参考文献: 父、母、彩さん、ナッシュ先生、益川先生、ワインバーグ先生、まどかさん